

【出版案内2】

## 「市町村GIS導入マニュアル」

GIS（地理情報システム）とは、紙地図によって保管されてきた様々な地理情報を、統一的にコンピューターでデータベース化することにより、検索や表示、解析などを簡単に行えるようにするシステムである。

土地総合研究所では、GISの持つこうした土地情報整備の効率化、高度化推進上の有効性に注目していた国土庁土地局から委託を受け、平成6年度より3年間にわたり「地図情報システムによる市町村土地整備の研究」を続けてきた。この研究は、中村英夫教授を座長に「地図情報システムによる市町村土地情報整備研究会」を開催し、市町村におけるGISについてのご検討をお願いしていたものである。

その研究成果をとりまとめたものが本書である。この本は、実際に市町村がGISを導入する際の具体的な課題として基図データのあり方、導入と維持管理の経費及び体制等を取り上げ、平易に説明しているとともに、先進的な市町村の実例も取りまとめられており、市町村におけるGIS導入の際の疑問に直接応えられるマニュアルとなっている。

監修＝国土庁土地局土地情報課

編集＝地図情報システムによる市町村土地情報研究会

発行＝(株)ぎょうせい

平成9年5月初版発行